

授 業 計 画

科目名 『 介護の基本 I 』		講師名 佐藤 和子
		実務経験 ① ・ 無
対象学科名 介護福祉士学科 1年	授業の方法 講義	<講 義 日> 木曜日 1・2限
<p>[授業の内容] (学習全体の内容) *授業の全体像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護福祉の基本となる理念を学び、利用者の自立に向けた介護福祉の在り方、考え方を理解する ・ 介護福祉士の求められる役割と機能を理解する 		
<p>[到達目標] (どこまでのレベルを目標としているか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理念・倫理綱領・利用者理解を通し、介護福祉士のあるべき姿を理解できるようになる ・ 介護福祉士法の概要を知り、また義務規定を守る意味を学ぶ 		
<p>[検証] (学生の理解度を確認する方法)</p> <p style="text-align: center;">課題レポート・小テストの実施</p>		
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>中央法規 介護福祉士養成講座3 介護の基本 I</p>		<p>[成績評価の方法・基準]</p> <p>出席率を含めた授業態度 課題レポート・小テスト 定期試験を総合評価する</p> <p>*評価基準は評価記入用紙による。</p>

回数	授 業 内 容
1	介護福祉の基本となる理念 ・介護の成り立ち・介護福祉を取り巻く状況
2	” ・介護需要が高まった社会的な背景 ・介護福祉職の多様化
3	介護福祉の歴史 老人福祉法の制定にいたるまでの社会福祉政策 ・戦前の社会福祉政策
4	” ・1970年代・1980年代の老人福祉施策について ・社会福祉士及び介護福祉士法の制定
5	” ・1990年代老人福祉施策について ・ゴールドプラン
6	” ・2000年以降の老人福祉施策について ・介護保険法 身体拘束廃止
7	” ・訪問介護 ・医行為 ・介護福祉士法の定義規定・制度の変遷
8	介護福祉士の基本理念・ノーマライゼーション・QOL ・利用者主体 ・尊厳を支える介護
9	” ・利用者の権利に基づくサービス指針 ・自己決定権
10	介護福祉士の役割と機能 ・社会福祉士及び介護福祉士法の概要 ・定義・介護福祉士の義務規定
11	介護福祉士の活動の場と役割 ・地域包括ケアシステム・災害時の支援
12	介護福祉士の活動の場と役割 ・介護予防 ・医療的ケア ・最終段階の支援
13	介護福祉士に求められる役割とその養成 ・求められる介護福祉士像 リーダーの要素
14	介護福祉士を支える団体 ・各種団体・教育・学会について ・社会福祉士及び介護福祉士法に関連する諸規定
15	前期定期試験 前期の振り返り

回数	授 業 内 容
16	介護福祉士の倫理 ・もつべき職業倫理 ・ 普遍的生命倫理原則と倫理判断
17	” ・倫理的対応が必要な事例
18	日本介護福祉士会の倫理綱領 ・虐待防止 求められる職業倫理 ・身体拘束禁止 ・プライバシー保護
19	” ・介護福祉士の義務規定 ・ 倫理綱領と倫理基準（行動規範）
20	” ・倫理綱領と倫理基準（ケース・事例）
21	” ・倫理綱領と倫理基準（行動規範）（演習）
22	自立に向けた介護 ・介護福祉における自立支援 ・ 自立支援の考え方
23	” ・意思決定の支援・自己決定権の支援 ・ 生活支援サービスと高齢者の社会参加の支援
24	I C F の考え方 ・介護における I C F のとらえ方（演習） ・ I C F モデルと用語定義
25	” ・良循環と悪循環 ・ストレスの把握
26	自立支援とリハビリテーション ・考え方と背景・歴史 ・ リハビリテーションの実際 ・リハビリテーションの領域
27	” ・リハビリテーションの中での自立のとらえ方 ・ 介護福祉士の役割
28	自立支援と介護予防 ・介護予防の概要・目的と考え方・
29	” ・介護予防の実際・予防プログラムの種類 ・ 介護福祉士の役割
30	後期定期試験 後期振り返り・全体の振り返り